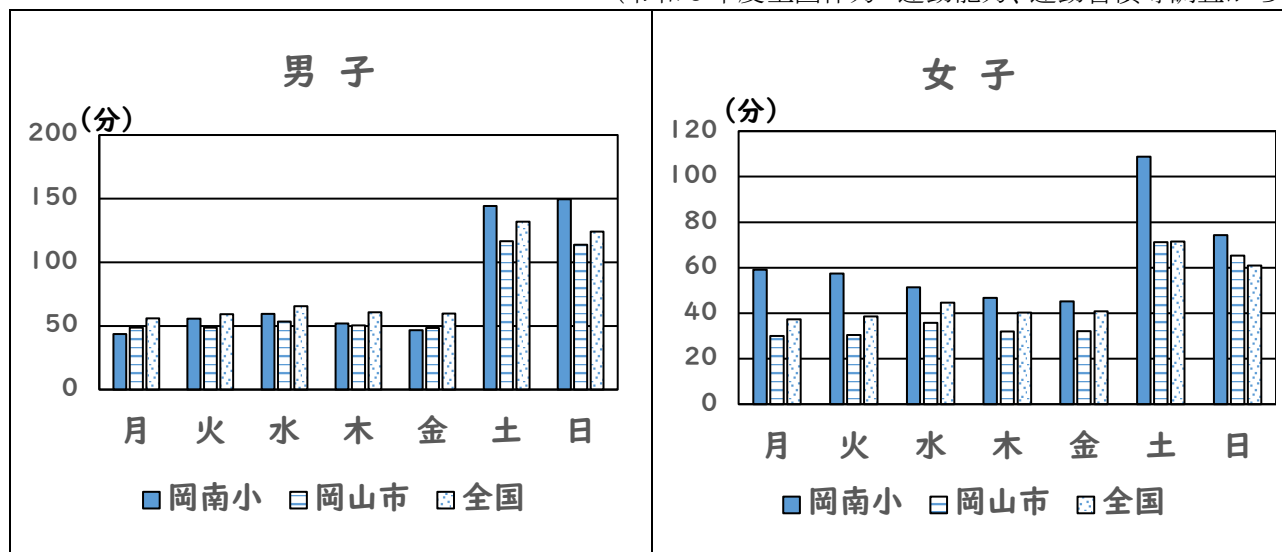


健康戦隊ウンドウジャーといっしょにドキドキ運動習慣づくり

学校名	岡山市立岡南小学校		校長名	奥山 裕史	
児童生徒数	401人	学級数	20	教職員数	45人

< 体育の授業以外の運動やスポーツの時間（曜日別） >

（令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から）



1 児童生徒の実態

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から、本校における体育の授業以外の運動やスポーツの時間は、岡山市・全国と比べて同等、またはそれ以上の傾向が見られる。特に、土日においては、男女ともに岡山市・全国よりも高くなっている。

休み時間の様子では、外遊びをする子とそうでない子とに分かれる傾向が見られ、体育の学習や運動に苦手意識をもっている児童は、各学級に一定数いる。引き続き、運動に親しみ続けられる取組が必要であると考えます。

2 取組の概要

メディアに囲まれて生活している子どもにとって、「遊び＝ゲームやスマホ」となっている日常生活の中に、「体を動かすことは楽しい」や「体をつかって遊ぶのは楽しい」と自然と感ぜられる仕組みづくりが必要だと考える。より良い運動習慣を身に付けていくためには、前述のように「運動することの楽しさ」を授業や休み時間に味わわせたいと考える。また、家庭への啓発も不可欠だと考え、以下の取組を行った。

① 「運動だんご」の活用



② 「健康戦隊ウンドウジャー」からのTV放送やクロムブック配信

「運動だんご」の内容を健康戦隊ウンドウジャーがTV放送やクロムブック配信を通して、紹介した。各週8個ある運動遊びの中から複数ピックアップして行い、成功例と失敗例を示すことで児童の意欲を促した。



③ 「遊びランド」の環境整備

鉄棒・雲梯・のぼり棒の側に掲示板を設置し、遊びカードを毎月貼りかえるようにした。遊びの内容は、低学年の児童でもチャレンジできそうなものを選んだ。



④ 家庭への啓発

長期休暇の際には、運動や健康の重要性をドラマ仕立てにした「特別版ウンドウジャー」をクロムブック配信した。

3 成果

運動だんごを始めて4年目となるが、カードの提出率や串の完成数を見ると、運動遊びに取り組む意欲は継続しているように感じられる。長期休業中のクロムブック配信とセットにして行う生活習慣チェックカード（長期休暇休みが終わる1週間前から開始）も楽しみにしている児童が多いようであった。また、ウンドウジャーの放送があるからという理由で遅刻傾向の児童が朝早く登校するケースも職員から耳にした。

4 課題・今後の取組に向けて

運動遊び習慣の定着を目指すためには、年に12週（3週×3学期＋長期休暇3週）の運動だんごカードが配布される以外の週にどれだけ運動をしようとしているかも重要となってくる。定期的に配信しているウンドウジャーのドラマの内容も大切に、児童の意欲が持続し、運動や健康に意識が向くようにしていくことが必要だと考える。

体育の授業も「ドキドキ50%」を職員間での合言葉とし、どの児童も運動することの楽しさを味わえるように授業づくりの改善を行っていきたいと考える。

